

## H29年度男子新体操全国指導者合同合宿（関東会場） 報告

1月20日～21日の2日間、国士舘大学多摩キャンパスにおいて合同合宿（関東会場）を開催した。関東会場では指導者と選手を合わせ、参加者120名の参加者数となった。

### 【1日目】

開講式（大舌司会・山田挨拶）に引き続き、高校生、指導者はルール講習、ジュニアは体育館での講習を行った。



体育館では国士舘大学生指導の下ストレッチを行ったのちレベルに合わせタンブリング、基本徒手、個人演技の指導を行った。手具操作では大学生を中心にいくつかのグループを作り基本的な手具操作から、高度な手具操作までレベルに合わせた講習が行われた。タンブリングでは普段はフロアで練習をおこなっていないチームも多数ありそのようなチームとしては非常に重要な講習となっているように感じた。

今年の講習は、例年招いていた外部指導者を招かず、コーチと国士舘大学生を中心に新体操に特化した講習とした。参加した選手もあこがれの大学生に教えてもらえることもあり、意欲的に講習に臨んでいたのが印象的であった。



指導者・高校生はルール講習を男子新体操委員会審判部が行った。今回のルール講習は昨年度の反省を踏まえ指導者2日間にわたり、高校生は1日目の終日を審判の採点能力向上を目的とし実施した。昨年度に引き続きのルール講習とあり指導者のルールの理解は非常に高いものになったと感じた。また、高校生は今年が初めてのルール講習への参加であったが、現状のルールを理解しそれぞれの演技に活かしていけるように考えて練習に取り組んでもらいたい。



## 【2日目】

指導者コースは前日に引き続きルール講習。高校生は、体育館で国士舘大学生指導の下ストレッチを行ったのちレベルに合わせてタンブリング、基本徒手、個人演技の指導を行った。ジュニアではできないようなタンブリングや手具操作を行っており、非常にレベルが上がってきていることを感じられた。普段一緒に練習することのない高校生同士と一緒に練習していることもあり、どの参加者も楽しそうに講習を受けていた。





今講習では、新体操に特化した講習内容を実施した。今講習に参加した、高校生、ジュニアには合宿で学習した内容が活かされ、更にレベルアップすることを願っています。

最後に講師を引き受けていただいた講師の先生方、関係された皆様はこの場を借りて御礼申し上げます。

男子新体操委員会 大舌俊平